



福岡県連協活動報告

福岡県学童保育連絡協議会

〒805-0067 北九州市八幡東区祇園 2 丁目 4-22

TEL093-662-6000・FAX093-662-6006

E-mail gakuforen@fukuoka-gkd.jp

発行・福岡県学童保育連絡協議会

2022 年 12 月 6 日発行・N03 号



第 57 回 全国学童保育研究集会

2022 年 10 月 29 日 (土)・30 日 (日)

つながろう!! 全国研
開催されました!

全国からの参加人数は
4575名

福岡県内の参加人数は
110名



全国研に参加しての感想が届きました。

○第 6 分科会「運営主体の変更・多様化する学童保育」に参加して

早いもので自分が学童保育の保護者として関わっていたのが 14 年前になります。

当時、宗像市学童保育連合会として保護者会運営でやっていました。

子ども達を中心に、支援員・保護者で手を取り合って運営していましたが、行政の方から学童保育に指定管理者制度が導入され、瞬間に営利企業が選定されました。今まで連合会で作り上げてきた 30 年間の積み重ねた物が無くなり、非常に悔しい思いをしました。

福岡県内でも最近、春日市や直方市等の学童保育の運営者に営利企業が選定され、今後も更に増えてくる可能性が高いと思います。

少しでも歯止めになる策を考えるために第 6 分科会に参加しました。

実例として、大阪府吹田市とさいたま市の報告がありました。

それぞれ学童保育への独自の選定方法があり、営利を目的とした企業が入りにくい仕組みを行政の中で持っているようです。

吹田市は、審査基準を委託費の 8 割以上を人件費としている事や、選定委員に 2 名の保護者が入っている事等があげられます。

さいたま市では、以前企業 3 ヶ所の学童保育が突然閉所になり、市の窓口では、株式会社を認めない運用に変わった事や、さいたま市の行政で学童保育の運営基準を持っている事などです。

どんなに子どもたちが学童保育で充実した生活を送っていても、保護者の信頼が厚くても、行政の学童保育に対する理解がないと営利企業が入り込んできます。

営利企業が入る前に行政が主体となり、学童保育の運営を子どもたち目線で考えていけるように、普段から行政との結びつきを強くしていく事が重要ですが、行政の意識を変えるのが非常に難題です。

今後としては、営利企業から良識のある団体に変わっていく手立てを考えていく事、又、営利企業になると福岡県学童保育連絡協議会から脱会していく為、加盟を増やし、子どもたちの生活を守っていく事が課題だと思います。

保護者 OB 香月 洋則

○子ども理解の視点と

安心できる関係づくり

とてもとても充実したこの分科会にしてよかった—と思える貴重な時間でした。

実践報告では一人の子どもを通しての指導員とのかかわり、他のこども達とのかかわりをみんな考えていく中で何を大切にしていけるのか、どんなかかわりをすれば子どもと信頼関係を築いていけるのか…意見や質問をたくさん出し合い、自分の学童の子ども達におきかえて考えていく事ができました。

難しいけど一人一人の子どもの事をきちんと理解できる指導員でありたいと思いました。

また、ブレイクアウトルームでは全国研なのに！！すごい人数の中で、自分の学童の悩みを話す事ができ、皆さんと一緒に考えてもらうことができました。こんなに有意義な時間を過ごせたのは世話人の方々ふり方、話の聞き方、まとめ方のおかげです。その辺がとても勉強になりました。

一枝学童保育クラブ 支援員

○記念講演を聞いて思う

片足を失って、ベットに横たわる一人の少女。この写真に、私は衝撃を受けました。フォトジャーナリストの安田菜津紀さんが、戦地ウクライナで撮った一枚でした。

他にも、講演で聞きなれない言葉、トラフィックチルドレンの話があり、売り買いされた子どもたちのことだとわかった時は、心が痛くなりました。

また、難民となってしまった子どもたちが、教育も受けられず、暴力や迫害にくるしんでいることも忘れてはいけなかったと思います。

地球で実際に起きているこの現実を目を背けず、私たちは、知ることから始めなければなりません。この講演を聴いて、世界の子どもの未来が明るく希望を持って生きるには、今どうしたらいいのかを、考えるきっかけとなりました。

鞍手学童保育自然クラブ 支援員

全国連協より

全国学童保育連絡協議会 定期総会を開催しました

2022年10月23日、全国連協は東京都豊島区内で2022年度(2022年10月からの1年間)の定期総会を開催しました。

当日は、会場36名のほか、インターネットを介して、全国70地点以上から参加がありました。総会では、2021年度の活動報告、決算報告が行われ、会計監査報告を受けた後、いずれも確認されました。つづいて、「学童保育のめぐる現状と課題」を確認し、今年度の活動方針と予算が承認されました。

全国連協のホームページ
をご覧ください。

実施状況調査の結果が まとまりました

全国連協は毎年、5月1日現在の学童保育の実施状況を調査しています(全国すべての市町村〈特別区を含む。以下同〉1,741市町村を対象とする悉皆(しつぱい)調査)。市町村は、厚生労働省令「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」(以下「省令基準」)にもとづいて、学童保育の「最低基準」となる条例を定めています。全国連協は2015年以降、「省令基準」で示された「支援の単位」を学童保育の基礎的な単位として、その数を集計しています。今年度もすべての自治体から回答をいただき、調査結果がまとまりました。

第 40 回福岡県学童保育研究集会

保護者、支援員、学童保育関係者と共に！！

大変だけど、やっぱり大切！
つながろう学童保育仲間

◆日時:2023年2月26日(日)

9:40～16:00

◆開催方法:対面・ハイブリッドなど(予定)

◆参加費 :2,000 円 会員外 2,500 円

◆記念講演:「コロナ禍の子どもたち」

～保健室から見た子どものからだと心～

新型コロナウイルス感染症の発生により、2020年2月27日突然の一斉休校となりました。

あの時から3年・・・成長期の子どもたちのからだに、どのような変化が起きたのでしょうか。考え合います。

なかしまりょうこ

【講師】中島綾子さん(文教大学付属小学校 養護教諭)

福島県生まれ。日本体育大学体育学部健康学科卒業、日本体育大学大学院体育科学研究科博士前期課程修了。子どものからだと心・連絡会議、教育科学研究会身体と教育部会等に所属し、子どものからだ心について学んでいる。

◆分科会：5 分科会

○楽しく過せる学童保育を目指して ～子ども・保護者・支援員とのコミュニケーション～	石橋裕子(佐賀県連協)
○気になる子どもの理解と対応	中尾正彦(日本文理大学)
○リアルしゃべり場 in 宗像	福岡ブロック運営委員会
○学童保育の運営を考える	森元茂利(県連事務局長)
○「高学年保育ってどうするの？」 －高学年保育の知見と子どもの姿から－	鍋倉 功(放課後児童支援員・保育士)

※チラシは12月15日ごろに、皆さんのところに届く予定です。

「日本の学童ほいく」

普及ニュース

最近「日本の学童ほいく」誌を拡大しましたと連絡がありました。

常日頃購読してもらいたい方を探していて、ある町の研修会で出会った学童担当の行政職員に進めたところ、「いいですよ」と気軽に購読してくれたそうです。この機会をきっかけに今後の行政とのつながりもスムーズに行くのではないかと期待を持って接していくそうです。

周りにまだ購読していない方がいるはずですよ。声をかけていきましょう！！

学童保育情報 2022-2023

B 5 判 ・ 304 頁 頒価

1000 円〔税込〕

福岡県連協まで申し
込みください

学童保育情報 2022-2023



全国学童保育連絡協議会が毎年行っている学童保育の実施状況調査の調査報告をはじめ、学童保育の現状と課題に関する最新データ、学童保育に関わる国の法律・補助金・通知、この1年間の学童保育に関わる政策動向、全国学童保育連絡協議会の国への要望などを収めた、最新の資料集です。

11-12 月

報告と予告



11月

- 4 日 第 4 回役員会
第 2 回研究集会実行委員会
- 9 日 古賀市出前研修
- 11 日 玉名市出前研修
- 14 日 指導員学校第 2 回準備会
- 15 日 朝倉市学童交流会
- 18 日 筑豊ブロック運営委員会
- 22 日 第 3 回研究集会実行委員会
- 27 日 北九州ブロック会議

12 月

- 3 日、4 日 全国運営委員会
- 6 日 研究集会臨時実行委員会
- 15 日 筑豊ブロック運営委員会

2022 年も瞬く間に過ぎようとしています！
そして、福岡県学童保育研究集会まであと
2 ヶ月余り！3 年ぶりの対面での分科会も
あり、わくわくしてます！



福岡県学童保育連絡協議会

第二回 学童保育支援員の しゃべり場 in 宗像

学童保育支援員といっても、その仕事内容は保育のみならず、環境整備、保護者会や学校・地域との連携、保護者対応、イベント等の企画・準備等、多岐にわたります。そして、昨今様々な運営形態で運営されている学童保育は、個々の学童保育においてその内容や特色も様々です。

そんな中で日々子どもたちの事を考えながら保育している私たち支援員。時には「こんな時どうしたら良いだろうか?」「他の学童ではどうしているのだろうか?」と悩むこともありますよね。

9 月末の第一回では支援員の想い・悩みを共感しあい、他学童の話に刺激を受け合いました。第二回でも交流を大事にして、学童保育支援員の仕事の魅力を再確認したいと思います。

明日の保育も楽しいものにしませんか??

是非多くのご参加をお待ちしています。

【日 時】 2023 年 1 月 13 日 (金) 9:30~11:30
【場 所】 吉武地区コミュニティ・センター (無料駐車場有)
宗像市吉留 3519-1 ※マイスリッパを持参してください。

【参加費】 1 人 300 円 (当日徴収します)

【定 員】 30 名程度 (一学童最大 2 名程度)

【申し込み方法】 速速 申し込み締め切り 2023 年 1 月 7 日 (土)

① 裏の申し込み用紙にて FAX

吉武地区コミュニティ・センター FAX: 0940-32-5958

② 電話かメール

吉武小学校学童保育所 TEL: 0940-33-3065 (14:00~18:30)

メールアドレス: yoshitake-gakudou@ray.ocn.ne.jp

吉武地区コミュニティ・センター TEL: 0940-32-5904 (9:00~17:00)

③ 「しゃべり場 in 宗像」公式 LINE での申し込み

右下の QR コードから。

【お問い合わせ先】 吉武小学校学童保育所 主任支援員 平 直之

LINE 「しゃべり場 in 宗像」の LINE 公式アカウントが出来ました!!

右の QR コードから「しゃべり場 in 宗像」の公式ラインを、お友達登録してください。
今後の開催情報や開催地のまとめ報告等の情報を受け取れたり、公式ラインから参加申し込みすることもできます。

